『悠悠映画塾』について

【1】「悠悠映画塾」開催について。

“映画は豊かな人生学校”と言われます。映画をとおして様々な人生や行った事のない地域を知ることができます。この上映会は、映画の鑑賞をとおして皆さまの人生が「今一つ豊かになった」と喜んでいただける事を願って開催します。

【2】お客様の特典サービスについて。

① ポイントによる無料ご招待。

お配りしています『受講証』に参加いただく度に、押印させていただきます。
5回ご参加いただきますと、6回目は、無料招待とさせていただきます。

② 入場料金の優待。

ご案内ハガキご持参の方は、特別料金にご優待いたします。料金は作品により変動いたします。

③ 記念品のプレゼント

ポイントカードを3枚目に更新される時にファイルをプレゼントいたします。

【3】上映会場について。

主として、県民文化センター小ホールや、ひたちなか市文化会館小ホールを会場としますが、予約状況などにより、別会場になる場合もあります。

【4】会場へのご入場について。

上映会場は一般のチケット購入の方もご入場されます。席は全て自由席です。
先着順にご入場いただきますが、定員数を越えてご入場いただく事は消防法により禁じられておりますので、満席になりました場合は、別の時間にご入場いただくことになります。予め、ご了解ください。

【5】上映会期日のご案内について。

上映会のお知らせにつきましては下記の方法をとらせていただきます。

①「よみうりタウンニュース」紙上等での上映案内。

②すでに映画センターにお名前、ご住所が登録されている方（今回の上映のお知らせが直接届いた方）には、チラシ郵送による案内。

③本日のアンケートの住所・氏名欄にご記入いただいた方で、今回初めてご記入いただいた方は、新たに登録させていただき、次回分より優待付案内状をお送りさせていただきます。

④茨城映画センターのホームページ上の上映スケジュール

【6】お知らせいただいた情報の使用について。

お知らせいただきました、皆様の住所、氏名等の情報につきましては、上映情報の提供等、「悠悠映画塾」の運営を充実させる目的以外には使用いたしません。

【ご意見・ご要望は】

『悠悠映画塾』事務局（茨城映画センター） 〒310-0064水戸市栄町1-10-13
TEL 029-226-3156(平日10:00～17:00)　E-MAIL　eiga-c@ibaraki-eiga.co.jp
ホームページアドレス [www.ibaraki-eiga.co.jp]

第126回悠悠映画塾

百の診療所より一本の用水路を

劇場版

荒野に希望の灯をともす

朗読 石橋蓮司／語り 中里雅子
取材 柿木喜久男／大月啓介／アミン・ウラー・ベーグ
CG 平野雄一／音効 渡辺真衣／大島亮／演奏 中村幸
編集 櫻木まゆみ／撮影・監督 谷津賢二／構成・制作 上田未生
文化庁文化芸術振興費補助金／独立行政法人 日本芸術文化振興会
企画 ペシャワール会／製作 日本電波ニュース社2022年/日本/カラー/90分

20年以上に渡り撮影した映像素材から 医師 中村哲の生き様を追うドキュメンタリーの完全版！

2026年7月31日（金）ザ・ヒロサワ・シティ会館小ホール（県民文化センター）

開演時間／①午前10：30～ ②午後2：00～ ③午後4：30 ④午後7：00～
（開場各30分前・上映時間90分・字幕付上映）

●主催・問合せ● 茨城映画センター（「悠悠映画塾」事務局 TEL：029-226-3156） 詳細は裏面をご覧下さい。）
●共　催● 水戸市、茨城県ユニセフ協会

武力で平和は守れない

医師 中村哲 現地活動35年の軌跡

これは「生きるための」戦いだ。

アフガニスタンとパキスタンで、病や貧困に苦しむ人々に寄り添い続けた男、
医師・中村哲。戦火の中で病を治し、井戸を掘り、用水路を建設してきた。
なぜ医者が井戸を掘り、用水路を建設したのか？
その答えは、命を見つめ続けた中村の生き様の中にあり、
私たちはこの映画で中村が生きた、その軌跡をたどることになる。

「彼らは殺すために空を飛び、
我々は生きるために地面を掘る。」 ―中村哲

中村の誠実な人柄が信頼され、医療支援が順調に進んでいた2000年。思いもよらぬ事態に直面し、中村の運命は大きく変わる。
それが“大干ばつ”だ。渇きと飢えで人々は命を落とし、農業は壊滅、医療で人々を支えるのは限界だった。
その時、中村は誰も想像しなかった決断をする。用水路の建設だ。
大河クナールから水を引き、乾いた大地を甦らせるというのだ。しかし、医師にそんな大工事などできるのか？
戦火の中で、無謀とも言われた挑戦が始まった―。

「ここには、天の恵みの実感、誰もが共有できる希望、
そして飾りのないむきだしの生死がある。」 ―中村哲

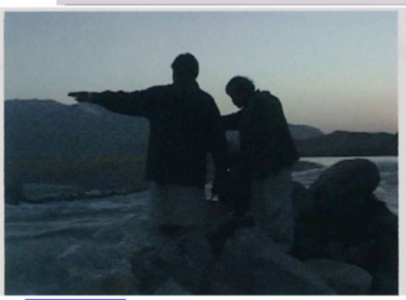
専門家がいないまま始まった前代未聞の大工事は、苦難の連続だった。数々の技術トラブル、アフガン空爆、息子の死・・・
中村はそれらの困難を一つ一つ乗り越え、7年の歳月をかけ用水路は完成。
用水路が運ぶ水で、荒野は広大な緑の大地へと変貌し、いま65万人の命が支えられている。そして―。

2019年12月。さらなる用水路建設に邁進する最中、中村は何者かの凶弾で命を奪われた。
その報にアフガニスタンは悲しみに沈み、ニューヨークタイムズ、BBCなどが悲報を世界に伝えた。
あれから2年半。日本ではその生き方が中学や高校の教科書で取り上げられ、
母校の九州大学はその思索と実践を研究し始めた。
中村の生き様は静かに語り継がれ、輝きを増しながら人々を励まし続けるだろう。
そして用水路はこれからもアフガン人の命を支え続けていくだろう。

戦火のアフガニスタンで21年間継続的に記録した映像から、
これまでテレビで伝えてきた内容に未公開映像と
現地最新映像を加え劇場版としてリメイク。
混沌とする時代のなかで、より輝きを増す
中村哲の生きざまを追ったドキュメンタリー！

―[劇場版]について―

この映画は、2022年に完成した作品で[DVD版]とは異なって、2019年中村哲さんが凶弾に倒れられた後の、アフガニスタンの状況を描いています。



前売券 1,200円 発売予定日／6月 26日～（販売所により発売日が異なる場合があります。）
（当日券／一般:1,500円、高校生以下:800円、悠悠映画塾会員は 1,100 円）

前売券販売所 ザ・ヒロサワ・シティ会館、ひたちなか市文化会館、茨城映画センター
【前売券予約電話番号】茨城映画センター内：090-2641-3156
（土・日・祝日を除く 午前10：00～午後5：00）

●感染症対策の為、発熱や体調不良時には来場をお控えいただきますようお願いいたします。またご入場の際等、適宜手指の消毒にご協力をお願いいたします。

チラシ持参で一般当日券1,300円に割引

※上記二次元コードの予約フォームより前売券のご予約が出来ます。

第127回悠悠映画塾

ぼくが生きてる、ふたつの世界

伝えられない想いが
あふれだす。

2026年8月9日（日）ひたちなか市文化会館小ホール（ひたちなか市青葉町1－1）

2026年8月22日（土）ザ・ヒロサワ・シティ会館小ホール
（茨城県立県民文化センター、水戸市千波町697）

開演時間／①午前10:30～ ②午後2:00～ 【各会場共通・開場各30分前・上映時間105分・字幕付】

●主催・問合せ● 茨城映画センター（「悠悠映画塾」事務局 TEL:029-226-3156） 詳細は裏面をご覧下さい。）

●共　催● 茨城県聴覚障害者協会

監督:呉美保　主演:吉沢亮　脚本:港岳彦

忍足亜希子　今井彰人　ユースケ・サンタマリア　烏丸せつこ　でんでん

原扶貴子　山本浩司　河合祐三子　長井恵里

原作:五十嵐大「ぼくが生きてる、ふたつの世界」(幻冬舎刊)　企画・プロデュース:山国秀幸

製作:「ぼくが生きてる、ふたつの世界」製作委員会(ワンダーラボラトリー／博報堂DYミュージック&ピクチャーズ／ギャガ／JR西日本コミュニケーションズ／アイ・ビー・アイ／アミューズ／河北新報社／東日本放送／シネマとまと)

助成:大ハ戸 文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業)　独立行政法人日本芸術文化振興会

©五十嵐大／幻冬舎　©2024「ぼくが生きてる、ふたつの世界」製作委員会　配給:ギャガ GAGA★　gaga.ne.jp/FutatsunoSekai/

母に背を向け、故郷を離れたぼく――。
繊細に紡がれる、きこえない母ときこえる息子、そしてあなたの物語。

GAGA★ GENDA GROUP

親子の物語が、そしてひとりのコーダの心の軌跡が、点描のように紡がれていく――。監督は、本作が9年ぶりの長編作品となる、『そこのみにて光輝く』『きみはいい子』の呉美保。作家・五十嵐大氏の自伝的エッセイを原作に、脚本は『正欲』の港岳彦。吉沢亮が、〝きこえる世界〟と〝きこえない世界〟を行き来しながら生きる主人公を体現、自身の居場所を見出していく若者の心を繊細に演じた。母・明子役には、ろう者俳優として活躍する忍足亜希子。

やがて母への想いが観る者の胸にも静かに温かく満ちていく、心に響く映画が誕生した。

＊コーダ：きこえない、またはきこえにくい親を持つ聴者の子供

母と息子、切なくも心に響く家族の物語

Story

宮城県の小さな港町、五十嵐家に男の子が生まれた。祖父母、両親は、“大”と名付けて誕生を喜ぶ。ほかの家庭と少しだけ違っていたのは、両親の耳がきこえないこと。幼い大にとっては、大好きな母の“通訳”をすることも“ふつう”の楽しい日常だった。しかし次第に、周りから特別視されることに戸惑い、苛立ち、母の明るささえ疎ましくなる。心を持て余したまま20歳になり、逃げるように東京へ旅立つ大だったが・・・。

Living in Two Worlds

監督：呉美保　主演：吉沢亮　脚本：港岳彦

忍足亜希子　今井彰人　ユースケ・サンタマリア　烏丸せつこ　でんでん

原扶貴子　山本浩司　河合祐三子　長井恵里

原作：五十嵐大「ぼくが生きてる、ふたつの世界」（幻冬舎刊）

企画・プロデュース：山国秀幸

製作：小山洋平　依田　伊藤義彦　野村弘幸　荒木宏幸　一力雅彦　藤ノ木正哉　鳥居明夫

企画：宮崎大　プロデューサー：長澤佳也　音楽：田中拓人　撮影：田中創　照明：溝口知　録音：小清水建治　美術：井上心平　装飾：櫻井啓介　小道具：吉永久美子

衣装：兼子潤子　ヘアメイク：山内聖子　原田ゆかり　キャスティング：神林理央子　演技事務：栃原紫帆　助監督：水波圭太　制作担当：柴野淳　協力プロデューサー：高橋潤

編集：田端華子　VFXスーパーバイザー：帆足誠　カラリスト：石原泰隆　ソレコーディングミキサー：野村みき　サウンドエディター：大保達哉

ろう・手話演出：早瀬憲太郎　石村真由美　コーダ監修：瑞山悟史　手話監修協力：一般財団法人　全日本ろうあ連盟

『誰もが安心して共に暮らせる社会の実現を目指して。』

前売券 1,200円　発売予定日／7月7日～（販売所により発売日が異なる場合があります。）
（当日券／一般:1,500円、高校生以下:800円、悠悠映画塾会員は1,100円）

前売券販売所　ザ・ヒロサワ・シティ会館、ひたちなか市文化会館、茨城映画センター
【前売券予約電話番号】茨城映画センター内：090-2641-3156
（土・日・祝日を除く 午前10：00～午後5：00）

●感染症対策の為、発熱や体調不良時には来場をお控えいただきますようお願いいたします。またご入場の際等、適宜手指の消毒にご協力をお願いいたします。

チラシ持参で一般当日券1,300円に割引

※上記二次元コードの予約フォームより前売券のご予約が出来ます。

第128回悠悠映画塾

富士山と、コーヒーと、しあわせの数式

一歩踏み出してみると、
人生って意外と楽しい

豆原一成（JO1）　市毛良枝
酒井美紀　八木莉可子／長塚京三
市川笑三郎　福田歩汰（DXTEEN）　藤田玲　星田英利
監督：中西健二
主題歌：「ひらく」JO1（LAPONE ENTERTAINMENT）

亡き祖父が遺したやさしいサプライズ――
夢に迷う僕と、夢を見つけた祖母。
ふたりが紡ぐ、人生のふとした喜びを描く家族の物語。

脚本：まなべゆきこ　音楽：安川午朗　題字：赤松陽構造
原案：島田依史子「信用はデパートで売っていない　教え子とともに歩んだ女性の物語」（講談社エディトリアル刊）　原案総責任：島田昌和
製作：依田巽　エグゼクティブプロデューサー：寺田哲章　プロデューサー：武井哲　岡田敏志　アソシエイトプロデューサー：高橋りさ　津久井薫　プロダクションスーパーバイザー：公野勉
プロジェクトスーパーバイザー：田中誠　原案監修マネジメント：三橋尋子　撮影：中坊武文　照明：田中利夫　録音：日下部雅也　整音：岩丸恒　美術：松本良二　装飾：土橋麻衣子　編集：小西智香
視覚効果：松本肇　音響効果：小山秀雄　スタイリスト：黒田匡彦　ヘアメイク：リョータ　助監督：金子功　制作担当：古野修作　ラインプロデューサー：島根淳　プロット協力：合田純奈　丹保あずさ
制作プロダクション：PADMA　©2025「富士山と、コーヒーと、しあわせの数式」　配給：ギャガ GAGA★

GAGA★ GENDA GROUP

2026年9月24日（木）ザ・ヒロサワ・シティ会館小ホール
（茨城県立県民文化センター、水戸市千波町697）

開演時間／①午前10:30～　②午後2:00～　【開場各30分前・上映時間100分・字幕付】

●主催・問合せ● 茨城映画センター（「悠悠映画塾」事務局　TEL：029-226-3156）詳細は裏面をご覧下さい。

祖父が遺した
やさしいサプライズ――。
僕と祖母、毎日が輝きだす。

注目の次世代俳優　44年ぶりの映画主演

豆原一成(JO1) × 市毛良枝

Introduction 孫と祖母とが軽やかに紡ぐ家族の物語――。コーヒーにだけはこだわりがある、ちょっと頼りなくて優しい孫・拓磨役に、映画主演は2作目となる、グローバルボーイズグループJO1の豆原一成。夢を叶えるアクティブな祖母をチャーミングに体現するのはW主演の市毛良枝。亡き後もその思いが二人を支える祖父役を『敵』の長塚京三、ほか酒井美紀、八木莉可子らが物語を彩る。監督は『大河への道』の中西健二。脚本は『サイレントラブ』のまなべゆきこ。人生は意外と楽しくていとおしい。

Story 祖母・文子と暮らし始めた大学生の拓磨は、亡き祖父・偉志の書斎で大学の入学案内を見つける。それは偉志が遺した文子へのサプライズだった。一歩踏み出し、若い頃の夢だった「学び」の日々を謳歌する文子。一方、拓磨は夢に自信が持てず将来に悩む。そんな二人は、富士山が好きだった偉志の手帳に不思議な数式を見つけて‥。

豆原一成(JO1)　市毛良枝
酒井美紀　八木莉可子／長塚京三
市川笑三郎　福田歩汰(DXTEEN)　藤田玲　星田英利
監督：中西健二

主題歌：「ひらく」　JO1(LAPONE ENTERTAINMENT)　作詞・作曲：秦 基博　編曲：トオミ ヨウ
脚本：まなべゆきこ　音楽：安川午朗　題字：赤松陽構造
原案：島田依史子「信用はデパートで売っていない　教え子とともに歩んだ女性の物語」(講談社エディトリアル刊)　原案総責任：島田昌和
製作：依田巽　エグゼクティブプロデューサー：寺田哲章　プロデューサー：武井哲　岡田敏志　アソシエイトプロデューサー：高橋りさ　津久井薫
プロダクションスーパーバイザー：公野勉　プロジェクトスーパーバイザー：田中誠　原案監修マネジメント：三橋尋子
撮影：中坊武文　照明：田中利夫　録音：日下部雅也　整音：岩丸恒　美術：松本良二　装飾：土橋尋衣子　編集：小西智香
視覚効果：松本肇　音響効果：小山秀雄　スタイリスト：黒田匡彦　ヘアメイク：リョータ　助監督：金子功　制作担当：古野修作
ラインプロデューサー：島根淳　プロット協力：谷田純奈　丹保あずさ
制作プロダクション：PADMA　2025／日本／カラー／アメリカンビスタ／5.1ch／100分／配給：ギャガ GAGA★
©2025「富士山と、コーヒーと、しあわせの数式」

前売券 1,200円　発売予定日／8月23日～（販売所により発売日が異なる場合があります。）
（当日券／一般:1,500円、高校生以下:800円、悠悠映画塾会員は1,100円）

前売券販売所 ザ・ヒロサワ・シティ会館、ひたちなか市文化会館、茨城映画センター
【前売券予約電話番号】茨城映画センター内：090-2641-3156
（土・日・祝日を除く 午前10：00～午後5：00）

●感染症対策の為、発熱や体調不良時には来場をお控えいただきますようお願いいたします。またご入場の際等、適宜手指の消毒にご協力をお願いいたします。

チラシ持参で一般当日券1,300円に割引

※上記二次元コードの予約フォームより前売券のご予約が出来ます。